

学内保育所の状況について

白井千晶（東洋大学他非常勤講師）

学内保育所は、まだまだ整備されている状況とはいえませんが、大学付属病院内の託児所・保育所・保育室をさきがけとして、何十年もの歴史をもつ保育所もある。また、大学が設置する保育所ばかりでなく、共同運営方式（自主保育所）の歴史も古い。「職業婦人」という地位で女性が就労していた時代から、様々な設置主体、運営方法で学内託児所・学内保育所は存在してきた。

近年では、大学も事業所として子育て支援（次世代育成支援）をしている。また、各大学では、男女共同参画室、男女共同参画推進室等を設置して、男女を問わず教育、研究に取り組める環境を整備する一般として、一時保育施設、月極保育施設の設置に乗り出す大学も出てきた。生涯学習を背景に、子育て世代や社会人学生など学生が多様化し、また一般向けの生涯学習講座を運営として成立する事業として運営したいという目論見もあり、学生向け、一般向けの一時保育への需要も高まっている。

一方で、各種保育施設や保育サービスの充実により、学外にアウトソーシングしたり一般保育所化して大学経営に負担をかけない方策も模索されている。

こうした現状において、2008年1月時点で確認できた学内保育所は、別表に示したとおりである。最近の傾向としては、(1)大学設置保育所、学内保育所から脱却する形で、認可保育園、東京都認証保育園化する（北海道大学、東北大学、名古屋大学、東京大学、京都大学）(2)生涯学習向け・通信教育向け一時保育施設等、病後児保育、多様なサービスを提供する保育室を業者に委託して新設する（中央大学、日本女子大学、武蔵野大学、目白大学、早稲田大学、京都大学病後児保育や待機児童保育）。従来の(3)学内の事業所内保育所も健在ではある（京都大学、筑波大学、弘前大学、お茶の水女子大学、大阪大学）。

しかし、大学を企業・事業所としてみると、事業所内保育所の設置は進んでいるとはいえない。歴史的に女性は他の職種に比較して教育職の割合が高かったが（公務員、ジェンダー非対称的な女性向きといわれる専門職、例えば看護師、美容師と同様に）、高等教育になるほど女性の割合は非常に低かった。また、教育研究活動が整備されていないため、大学教員の出生率は低かった。学内保育所が充実していないのは、こういった背景があるだろう。

しかし、社会人入学、生涯教育、夜間学部、通信教育のスクーリング等、学生および教員、職員の保育のニーズはますます高まっている。業者委託や認可・認証保育所化等、様々な方法を模索して、今後保育環境が整えられていくことが必要であろう。

参考 URL

文部科学省 女性研究者支援モデル育成（科学技術振興調整費）

http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/index.htm

文部科学省では、大学や公的研究機関を対象として、女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、研究活動を継続するための支援を行う仕組みを構築する際の模範となる優れた取組を支援するため、科学技術振興調整費による新規課題「女性研究者支援モデル育成」を平成 18 年度より開始いたします。

文部科学省 特別研究員事業（復帰支援）（日本学術振興会）

http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/index.htm

優れた男女の研究者が出産・育児による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰できるよう、特別研究員事業による支援枠を創設します。

社団法人国立大学協会 男女共同参画に関するワーキング・グループ

国立大学における男女共同参画を推進するために（報告書）

京大学生パパ・学生ママサークル・めんどり学部 <http://mendorigakubu.blog102.fc2.com/>

（学内保育所に関するリアルタイムの情報を入手可能）

大学名	施設名	施設概要	設置主体	利用方法・利用資格	保育料	経緯	参考 URL
東京大学(本郷地区)	たんぼぼ保育園	108名(0~5歳)	社会福祉法人経営認可保育園	一般認可保育園に準ず。	一般認可保育園に準ず。	1968年に東大職員を対象とした「東大本郷保育園」として設立され、1978年に、大学が土地を無償貸与し、社会福祉法人が経営する認可保育所に移行するとともに、地域の子どもも受け入れるようになりました。現在、利用者の約1/3が東大関係者の子弟です。	http://www.iam.u-tokyo.ac.jp/hoiku/05.html
東京大学(駒場地区)	東大駒場地区保育所	30名(0~5歳)	認証保育園(運営はNPO法人 東大駒場保育の会)		保育料(2005年): 通常保育 3~5歳児:月160~180時間: 50,000円、~200時間:58,000円、~220時間:66,000円 0~2歳児:4,000円アップ 土曜保育:1日5,000円、半日3,000円 上記時間を超えた延長保育:300円/15分(夜8:30まで) 夕方給食:7,000円/月 400円/回 曜日契約保育:週1日:18,000円、2日:28,000円、3日38,000円(0~2歳児は2,000円アップ) 日ごろ契約していない子どもの一時保育:1日6,000円、半日4,000円、1時間1,000円 学童の放課後育成支援:1日3,000円、半日2,000円、1時間500円	1971年に教職員組合が運営する「駒場地区保育所」として設立され、翌72年から都 区の補助を受けた無認可保育所として、地域の子どもの受け入れも開始しました。2003年4月にNPO法人が設立され、2004年4月に新しい建物に移行、同年9月に都の認証保育所になりました。大学が土地、建物を無償貸与し、光熱水費、設備関係の援助を行っています。認証保育園として都 区からの援助も受けています。現在、利用者の約半数が東大関係者の子弟です。	http://www4.ocn.ne.jp/~komabaho/
東京大学(白金地区)	東京大学医科学研究所臨時授乳室「ひまわり保育園」	約10名(現在5名)(0~3歳)	無認可保育所(運営は医科学研究所の運営委員会)	利用資格:両親のいずれかが医科研究で勤務するもの	保育料(2005年): 月に9日まで:月額17,000円(保育料)プラス4,000円(昼食・教材費) 月に10日以上:月額34,000円(保育料)プラス8,000円(昼食・教材費)	1970年に医科学研究所関係者むけの保育施設として設立され、研究所自身が運営する施設として、保育室の設置費用や運営経費が補助されています。	
東北大学	病後児保育室「星の子ども」				利用料(昼食・おやつ含む) 2時間未満...1000円 2時間以上4時間未満...2000円 4時間以上...3000円	東北大学病院では、平成13年から教室員会という大学病院・医学研究科の助教授以下の教員・医員・大学院生などを中心とする団体と看護部が協働して病児保育施設を運営してきました。大学内の病児保育施設として全国で初の設置でした。病児保育とは、病気の回復期で登園・登校できない状態でありながら家庭で	

						世話をする人がいない子供を、保護者にかわって看護・保育するものです。医師が常駐していない施設なので、実際には回復期の病児を対象とした病後児保育を行ってきました。大学病院の協力を得ながら教員会会員のボランティアで運営してきましたが、平成18年4月から大学病院の病後児保育施設「星の子ルーム」として運営されるようになりました。東北大学は平成18年度から、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業を受けて「杜の都女性研究者ハードリング支援事業」を開始しました。この事業の一環として、これまで病院地区でのみ利用されていた「星の子ルーム」は全学の職員・学生が利用できるように拡充されることになりました。	
名古屋大学 (鶴舞地区)	ひまわり 保育園	定員60名(0歳～5歳 各10名)	認可保育所(社会福祉法人緑の丘福祉会を設立して運営)大学が土地を無償貸与	原則として名古屋市民(うち名大関係者60%)		1968年共同保育所として設立、1976年認可	http://www.nagoya-u.ac.jp/kyodo_sankaku_renew/pdf/shiryo38.PDF
名古屋大学 (東山地区)	どんぐり 保育園		認可保育所(社会福祉法人緑の丘福祉会を設立して運営)大学が土地を無償貸与	原則として名古屋市民(うち名大関係者60%)		1968年乳児預り所として設立、1969年共同保育所、1976年認可	
名古屋大学 (鶴舞地区)	あすなろ 保育所		共同保育所	原則として名大病院職員	利用料(1000円/日)大学より人件費あり	1977年看護婦授乳所として職員娯楽室を利用して出発。(前身であるひまわり共同保育所の認可に伴い、産休明け等の年度途中での入園ができなくなったことから、職員組合と親が病院に働きかけて開園)・共同保育所(職員組合が主体となって運営、大学も運営に関与)	
名古屋大学 (鶴舞地区)	こすもす 保育園	常時23名生後57日～未就学児	認可外保育施設(ポピンスコーポレーション運営)	2006年3月時点学生3名、教員と職員が半分ずつ、非常勤職員や、男性教職員	21世紀財団からの助成 100万(5年間) / 月極38000～65000円 / 一時保育30分500円 / 病後児保育750円 / 30分	〔設置の経緯〕国立大学時代…地域貢献を目的に保育園設置(認可園) 法人化後…学内の要望(アンケート)と差異化・大学評価戦略 男女共同参画室からの発議 21世紀財団からの補助金	http://www.u-ga-kugei.ac.jp/~danjo/torikumi/nagoya.html / http://www.kyodoo-sankaku.provo

		／病後児保育も		3、4名。一時登録保育児が15名		建設費約3600万円(半額補助)＋備品 男女共同参画推進専門委員会委員、男女共同参画室員、教育学または心理学を専攻する教員、国際交流事業に従事する教員、施設計画業務に従事する教員、嘱託医、本部の課長またはそれに準ずる者などからなる「こすもす保育園運営協議会」の協議に基づき大学が運営します。	st.nagoya-u.ac.jp/cosmos/index.html
京都大学女性研究者支援センター	保育園入園待機乳児保育室			京都大学に所属する女子学生・女性研究者	50,000円(税込)/月(乳児1人あたり)	女子学生、女性研究者の研究と育児の両立を支援することを目的とし、女性研究者支援センター内に、「保育園入園待機乳児のための保育施設」を設けます。この保育施設は、年度途中の出産等により、保育園の入園待ちを余儀なくされている女性研究者等を対象とし、平成20年3月末までの間、試行的に開設するものです。運営については、株式会社アルファ・コーポレーションに委託し、大学が一部費用を負担して実施します。	http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/data/gakudouhoiku/index.php
京都大学女性研究者支援センター	京都大学女性研究者支援センター病児保育室(京都大学医学部附属病院内)	生後6ヶ月～小学校3年生		京都大学教職員・学生の子ども	1時間500円/人(昼食・おやつ代を含む)	原則として女性の京都大学教職員・学生の子どもが、病中・病後のため幼稚園・保育園・学校へ登園・登校できない時、親が仕事や研究を休むことなく、子どもの保育ができる環境を提供する施設です。京大病児保育室では、京都大学医学部附属病院と連携し、看護師・保育士が常駐する安心できる環境において、病児の保育を行います(なお、京大病児保育室は、平成18年度～20年度科学技術振興調整費「女性研究者の包括的支援-京都大学モデル-」の事業の一環として設置されています)。	
京都大学女性研究者支援センター	朱い実保育園		認可保育所	一般		1963年、京都大学の女子大学院生を中心に自宅での共同保育(「朱い実」)を開始し、この活動の中で翌年、婦人研究者連絡会(通称、婦研連:現在の女性研究者の会)を結成した。その後、職組の共同保育所となる。京都大学では、育児に関する支援として、1965年4月には北部保育所(現在の朱い実保育園)を、1966年9月には南部保育所(現在の風の子保育園)を開設した。これらの施設は、当時の国立大学としては先進的なものであった。その後、保育所としての認可を得るため、2つの保育所をもつ法人組織を設立し、現在では、それぞれ京都市の公立保育園となり、多数の本学教職員が利用している。	http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/about/model/01.php

京都大学女性研究者支援センター	風の子保育園		認可保育所	一般			
筑波大学	ゆりのき保育所	月極50人、一時保育10人	外部委託	筑波大学職員未就学児	月極31000～5000円 / 一時保育1日3000円1時間600円		
弘前大学	24時間開園(ピジョンハーツ運営) / 医学部付属病院内	40名(うち10名一時保育)	生後8週～小学校入学前	弘前大学教職員の未就学児	33000円～47000円 / 一時保育3000円		
早稲田大学	東京都認証保育所「ポピンズナーサリー-早稲田」			一般(学生割引あり)	月極50000～96,000円 / 一時保育1時間1,600円 / 学生割引あり / ピジター料金あり		http://www.waseda.jp/student/hoikukusyo/
目白大学	目白学園学生子育て支援サービス託児室			目白大学大学院生・目白大学生・目白大学エクステンションセンター受講生	大学院生:1コマ当たり¥30,000×コマ数 / エクステンションセンター1講座1回当たり¥2,500×受講回数		http://www.mejiro.ac.jp/ext/contents/takuji.html
日本女子大学	生涯学習総合センター託児室	0～10歳	ロイヤルベビーサロン		1時間1050円		
日本女子大学	さくらナーサリー			日本女子大学教職員対象だが定員に余裕があれば一般利用、一時保育も可		日本女子大学の保育所「さくらナーサリー」は、本学教職員のために昭和45年に設立が決定され、翌46年(1971)年に開所した。その前には卒業生が自宅を開放した「めぐみ保育園」があり、当時の教職員の熱心な運動や資金集めの結果、新設される豊明幼稚園の2階の一部に学内保育所が開設された。時代を先取りする画期的な発想の下に、人件費を負担して「0歳児からの子育て支援策」が始まったのである。専任	http://momi.jwu.ac.jp/~sogoken/project31-2007.html http://www.jwu.ac.jp/institution/sakura/index.html

						保育士による入念な保育プログラムや手作りのおやつや昼食は利用者から高い評価を得た。通信課程生も夏のスクーリング中に子どもを預けた。	
日本女子大学	非施設型病後児保育サービス	病後児	NPO 法人フローレンス	日本女子大学教職員の子	毎月1万円～の会費の一部が大学が負担	2007年10月よりフローレンスと日本女子大学がパートナーシップ法人契約	
沖縄国際大学スマイルランド						2004年に発足した。在学中に妊娠した学生が、学業の継続、就職と子育ての責任を果たしたいという気持ちが周囲を動かした。学生ボランティアが中心で、登録者は8名いる。保育の場は教室だが継続的使用に大学から異論が出た。学生中心の組織は卒業で人材が不足し、学ぶ母親、働く母親への全学的理解と大学が責任をもつ学内保育所設立在望されている。	http://momijwua.c.jp/~sogoken/project31-2007.html
琉球大学医学部	いずみ保育所			琉球大学医学部および病院職員等の子		看護師のための職場保育所である。当初は国が10名の専任保育士と職員を雇用した。少子化の波にあおられ近年は定員30名に満たない。現在の委託者は、看護師3名のみで他に女医、職員、医学生がいる。他学部や学生や地域開放は国から指導を受けて断念した。一方国の補助は減少し、現在は正規職員2名のみ、保育料は値上げされ、運営は国から医学部に移行された。非常勤の保育士が多いため運営に支障を来している。	http://momijwua.c.jp/~sogoken/project31-2007.html
北海道大学	子どもの園保育園		一般認可保育園			1958年職員授乳所(職場内保育所)を開園、2005年育児にあたる必要の生じた本学の職員や大学院生、ポスドクター、外国人研究者等が安心して就労又は就学できる環境を整えるため、北11条西5丁目に園舎を建築し、『子どもの園保育園』を札幌市の認可を得て設置・運営することとなる。	http://www.hokudai.ac.jp/bureau/hoikuen/index.html
九州大学	杉の子保育園		一般認可保育園			1977年認可。九州大学病院内託児室から一般保育園へ	http://ha2.seikyounu.ne.jp/home/suginoko/histories.html
東北大学	かたひら保育園		一般認可保育園			1982年認可。東北大学学内保育所から一般保育園へ	http://www.skiboko.org/katahira.html
中央大学法学部通信教育課程	スクーリング中託児室	満3歳から小学校2			半日1,000円、1日2,000円		

		年生まで。					
武蔵野大学 通信教育部		満3歳 から6 歳	スクーリング 中、附属幼稚 園で預かり		実費		
お茶の水女子大学	いずみ ナーサリ ー	18名 時間外 は大学生 「保育 お姉さん」を シッターとして紹介		1. 本学学生・ 教職員 2. 学内関係 者・桜蔭会会 員・附属学校 園保護者の紹介を受けている方 3. 附属学校 園の在園児の きょうだい	月極週5日 70,000円～84,000円 / 一時保育1時間 1,500～1,800円 / 在学学生割引あり(半額を奨学金に)	2002年10月 お茶の水女子大学保育施設いずみ保育所としてスタート 2005年4月 お茶の水女子大学いずみナーサリー	http://www.ocha.ac.jp/izumi/
大阪大学	たけのこ 保育園・ まきば保 育園		自主運営方式	大阪大学教職員	52,000円～65,000円 / 一時保育1日 4,500円	2008年4月より大学が設置運営母体となりNPO法人阪大ワーク&ライフサポートが運営	
島根大学	学内保育 施設設置 予定						
熊本大学	学内保育 施設設置 予定						
津田塾大学	さくらん ぼ保育所			学生、大学院 生、教職員の 子			

作成：白井千晶

無断転載を禁ず